

岩沼市教育委員会
点検・評価報告書
(令和3年度実績)

岩沼市教育委員会

目 次

I 点検・評価の概要	1
1 本報告書について	
2 点検・評価実施内容	
II 教育委員会の会議等活動状況	2
1 教育委員会の会議の開催状況	
2 総合教育会議の開催状況	
3 教育機関訪問	
III 事務事業の実施状況・点検・評価	5
岩沼市教育基本方針	5
「たくましさやさしさを培う学校づくりの推進」に関する事業	6
「学びと潤いにみちた地域社会の実現」に関する事業	12
「かおり高い芸術文化の醸成」に関する事業	15
「感動と活力あふれるスポーツの振興」に関する事業	17
IV 学識経験者の意見	19

I 点検・評価の概要

1 本報告書について

本報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定により、岩沼市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を実施し、その結果をまとめたものです。

【地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）】

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価実施内容

岩沼市教育重点目標に基づいて令和3年度に実施した主な事務事業の執行状況について、教育委員会において点検・評価を行いました。

その後、教育委員会が行った点検・評価（自己評価）について、学識経験者2名の方から御意見をいただき、あらためて各事務事業を検証しました。

御意見をいただいた学識経験者

鈴木 啓二郎 氏（元公立中学校長）

椎名 勝彦 氏（元公立中学校長）

II 教育委員会の会議等活動状況

○教育長・教育委員（令和3年度在籍）

職名	氏名	備考
教育長	百井 崇	(H25.10.1～)
教育長職務代理者	佐藤 雅晴	(H29.10.1～) (委員 H4.10.9～)
委員	小林 修子	(H24.10.9～)
委員	南館 公雄	(H26.11.1～)
委員	氏家 真由美	(R元.10.4～)

1 教育委員会の会議の開催状況

岩沼市教育委員会会議規則（昭和55年教育委員会規則第2号）第4条の規定により、定例会を毎月1回、臨時会を必要に応じて開催しています。令和3年度は、11回の会議を開催し、36件の議案を審議しました。

開催期日・会議	議案番号	内容
令和3年 4月15日(木) 定例会	第18号	学校医、学校歯科校医及び学校薬剤師の委嘱について
	第19号	岩沼市社会教育委員の委嘱について
	第20号	岩沼市スポーツ推進委員の委嘱について
5月20日(木) 定例会	第21号	岩沼市青少年室運営協議会委員の委嘱について
	第22号	岩沼市青少年室青少年相談員の委嘱について
	第23号	岩沼市通学路等安全対策推進会議委員の委嘱について
6月24日(木) 定例会	第24号	岩沼市障害児就学指導審議会委員の委嘱について
	第25号	岩沼市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について
	第26号	岩沼市いじめ問題対策推進委員の委嘱について
	第27号	岩沼市学校給食運営協議会委員の委嘱について
	第28号	岩沼市スポーツ推進審議会委員の委嘱について
6月28日(月) 持ち回り審議	第29号	市職員（管理職）の人事異動について
7月9日(金) 持ち回り審議	第30号	令和4年度使用教科用図書採択希望について
7月29日(木) 定例会	第31号	令和4年度使用教科用図書の採択について
	第32号	押印省略の実施に伴う関係教育委員会規則の整理に関する規則について
	第33号	押印省略の実施に伴う関係教育委員会要綱の整理に関する告示について

開催期日・会議	議案番号	内容
8月26日(木) 定例会	第34号	岩沼市文化財保護委員会専門委員の委嘱について
9月30日(木) 定例会		
10月14日(木) 定例会		
11月4日(木) 定例会	第35号	岩沼市立学校の管理に関する規則の一部改正について (次回定例会に持ち越し)
	第36号	岩沼市教育委員会文書取扱規程の一部改正について
	第37号	岩沼市立学校の児童生徒に係る出席停止の命令手続きに関する要綱の一部改正について
	第38号	岩沼市史収集資料保存活用等検討会設置要領の制定について
	第39号	岩沼市史収集資料保存活用等検討会委員の委嘱について
	第40号	令和4年度岩沼市教育費予算について
12月22日(木) 定例会	第41号	岩沼市立学校の管理に関する規則の一部改正について
	第42号	岩沼市公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正について
令和4年 1月20日(木) 定例会	第1号	岩沼市教育委員会点検・評価報告書(令和2年度実績)について
	第2号	岩沼市公民館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について
	第3号	岩沼市教育委員会行政組織規則の一部改正について
	第4号	岩沼市西公民館廃止に伴う関係規程の整理に関する訓令の制定について
	第5号	市史資料室の設置及び室長の専決事項に関する規程の制定について
2月10日(木) 定例会	第6号	岩沼市教育基本方針及び令和4年度岩沼市教育重点目標について
	第7号	岩沼市教育委員会文書取扱規程の一部改正について
	第8号	県費教職員の任免等の内申について
3月24日(木) 持ち回り審議	第9号	小学校及び中学校の通学区域に関する規則の一部改正について
	第10号	岩沼市教育委員会事務決裁規程の一部改正について
	第11号	市職員(管理職)の人事異動について

2 総合教育会議の開催状況

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4の規定により、市長と教育委員会により、総合教育会議を開催しております。令和3年度は、2回の会議を開催し、3件の議題について話し合われました。

開催期日	議題・協議事項
令和3年5月20日(木)	市内小中学校におけるデジタル化の状況について
令和3年12月22日(水)	令和4年度重点的に取り組む教育施策について
	教育委員会の課題について ・英語教育

3 教育機関訪問

毎年、岩沼市内の教育機関及び小中学校を訪問、視察し、教育委員と所属長との意見交換を行っております。令和3年度は次のとおり実施しました。

開催期日	視察先
令和3年10月14日(木)	市民会館空調設備改修工事
	西部地区コミュニティセンター
	朝日山公園スポーツ施設改修工事
	岩沼西小学校屋内運動場全面改修工事(岩沼西小学校給食)

Ⅲ 事務事業の実施状況・点検・評価

点検・評価の対象とした事務事業は、令和3年度岩沼市教育基本方針の4つの分野における重点目標として掲げた下記の18項目としました。それぞれの実施状況について記載し、基本方針ごとに点検・評価を行いました。

岩沼市教育基本方針

未来社会を展望し、広い視野と主体性をもち、命あるすべてのものと共に生きる心豊かな人間の形成と、明るく楽しい魅力あるまちづくりをめざし、学校・家庭・地域が一体となって、たくましさやさしさを培う学校づくりの推進
学びと潤いにみちた地域社会の実現
かおり高い芸術文化の醸成
感動と活力あふれるスポーツの振興
を中心に、市民の生涯にわたる学習の充実に努める。

令和3年度岩沼市教育重点目標

たくましさやさしさを培う学校づくりの推進

- 1 夢やあこがれをはぐくむ学校づくり
- 2 豊かな人間性や社会性、健やかな心身の育成
- 3 障害のある子どもへのきめ細やかな教育の推進
- 4 魅力ある教育環境づくり

学びと潤いにみちた地域社会の実現

- 1 社会教育推進体制の整備
- 2 学習機会の充実
- 3 家庭教育及び幼児教育支援の充実
- 4 青少年健全育成活動の推進と社会参加の促進
- 5 社会教育団体活動の推進と支援
- 6 社会教育施設の有効活用
- 7 読書活動の推進

かおり高い芸術文化の醸成

- 1 芸術文化活動の推進
- 2 文化財の保護と活用の推進

感動と活力あふれるスポーツの振興

- 1 スポーツ振興の充実
- 2 スポーツ団体活動の支援
- 3 部活動支援事業の充実
- 4 スポーツ施設の整備と活用の推進
- 5 市内開催の全国的、全県的大会の支援

たくましさやさしさを培う学校づくりの推進

1 夢やあこがれをはぐくむ学校づくり

(1) 学力向上の着実な推進

- ① 校内研究や教職員研修の充実
(教育指導専門監派遣による校内研究充実支援事業及び初任層対象授業指導等)
 - 専門監訪問回数48回
- ② 個に応じたきめ細やかな指導の充実
(小学校支援事業)(中学校支援事業)
 - 小中学校指導助手6名 特別支援指導助手12名 特別支援教育支援員13名を配置
- ③ 学習習慣の確立と定着を図る取組の推進
(「家庭学習の手引き」「家庭教育のために」の作成・配付事業)(学力向上推進事業)
 - 家庭学習の手引き：全児童・生徒へ配付
 - 家庭教育のために：新入生保護者配付
 - 岩沼学び塾：夏季・冬季休業期間及び放課後実施
- ④ 理科教育の充実
(只野文哉記念科学技術奨励事業「科学技術作品展」)
(副読本作成・配付事業「わたしたちの岩沼」「岩沼の自然」)
 - 科学技術作品展：10月市民図書館にて開催
 - 「わたしたちの岩沼」：小学3・4年生に配布
 - 「岩沼の自然」デジタル版：公開中
- ⑤ 全国学力・学習状況調査結果の分析・考察と改善方策の展開
 - 教務主任者会・研究主任者会で指示

(2) 夢やあこがれをはぐくむ教育活動の展開

- ① 学校の実態に応じた教育課程の編成と評価活動の推進
 - 教務主任者会・研究主任者会で指示
- ② 総合的な学習の時間・特色ある学校づくり推進事業の充実
(プロポーザル事業、未来へはばたく学校づくり奨励事業、夢あこがれ支援事業等)
 - 小中学校へ計8,311,000円の助成
 - ※未来へはばたく学校づくり奨励事業は、玉浦小学校が山形県尾花沢市との防災学習交流を実施した。
- ③ ユニーク先生活用事業の充実
(ユニーク先生活用事業)
 - 各小中学校の特色を生かし、多様な講師を招聘した授業を展開
- ④ 適切な進路指導及び地域と連携した社会性・職業観をはぐくむ教育の推進

(志教育及び夢☆あこがれプロジェクト事業)

○劇団四季こころの劇場

※新型コロナウイルス感染防止対策のため、各校で映像配信を視聴した。

(3) 伝統・文化の尊重と国際理解をはぐくむ教育の推進

① 環境教育・ふるさと教育の推進

(総合的な学習の時間・特色ある学校づくり推進事業)

(岩沼に愛着を持つ人材育成事業)

○小中学校へ計 8,311,000 円の助成 (再掲)

○里山体験学習の開催 (岩小 5 年生、岩小・玉小・西小・南小 1 年生)

○ふるさとの味、はらこ飯を味わおう! の開催 (西小 6 年生)

○二木の松俳句大会の開催 (小学 5 年生～中学 3 年生対象) 出展作品数 2,023 点

② 国際理解教育の推進

③ 外国語活動及び外国語教育の充実

(外国語指導助手招致事業)

○外国語指導助手 (ALT) 5 名配置

○英語教育推進委員会 中止 ※新型コロナウイルス感染防止対策のため

④ オリンピック・パラリンピックの啓発活動の推進

(オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業)

○聖火リレーのセレモニーに、希望する児童生徒が参加

(4) 教職員の資質・能力の向上

① 学校経営研修の充実

○小中学校校長会議及び教頭会議を毎月開催

② 若手教員の学びの場の提供

○初任者研修 2 回開催 (8 月・11 月)

○講師・指導助手研修 2 回開催 (8 月・10 月)

③ ICT 等教育機器の研修の充実及び専門支援員の活用

○ i-Teacher 研修会 (チームいわすた研修会) 5 回開催

○ ICT 活用研修会 (校長対象)

④ 職能に応じた研修会の開催

○教務・研究主任者研修会 9 回開催

○指導助手研修会 1 回開催

○講師研修会 1 回開催

○特別支援教育コーディネーター研修会 1 回開催

2 豊かな人間性や社会性、健やかな心身の育成

(1) 自他の命と人権を大切に作る心をはぐくむ道徳教育の推進

(教育指導専門監派遣事業)

- 道徳教育研修会 中止 ※新型コロナウイルス感染防止対策のため

(2) いじめ防止対策の推進

- いじめ問題対策推進委員会 2回開催
 - いじめ問題対策推進連絡協議会 2回開催
 - 岩沼市立学校「教育・いじめ防止フォーラム」オンラインで開催(12月)
- ※2回目は、新型コロナウイルス感染防止対策のため書面開催

(3) 一人一人を大切にした生徒指導及び心のケアの充実

(小学校支援事業)(中学校支援事業)(子どもの心のケアハウス運営事業)

- スクールカウンセラーの配置(市内全小中学校)
- スクールソーシャルワーカーの配置(拠点校:岩中)
- いわぬま心のケアハウス「あいるーむ」の設置

(4) 安全指導の充実及び防災教育の推進

- 学校防災推進委員会の開催 3回開催(うち1回は紙面開催)
- 岩沼市総合防災訓練の参加 (7月)
- 通学路等安全対策推進会議 2回開催

(5) 生活習慣の改善及び食育の推進

- いわぬま健幸運動を小中学校にて実施(6月・11月)
- いわぬま食育ウィークの実施 (11月)

(6) 体力・運動能力の向上と健康教育の推進

(運動体力向上事業)(部活動支援事業)(小学校保健事業)(中学校保健事業)

- 総合的な学習の時間・特色ある学校づくり推進事業として小中学校に助成
- 各種検診の実施
- 岩沼市学校保健会へ補助 450,000円

3 障害のある子どもへのきめ細やかな教育の推進

(1) 「共に学ぶ」特別支援教育の推進

(特別支援教育総合推進事業)

- 特別支援連携協議会 中止 ※新型コロナウイルス感染防止対策のため
- コーディネーター等連絡会 1回開催
- 特別支援教育研修会 中止 ※新型コロナウイルス感染防止対策のため

(2) 特別支援指導助手及び特別支援教育支援員の配置の推進

(小学校支援事業) (中学校支援事業)

- 特別支援指導助手 12名配置
- 特別支援教育支援員 13名配置

(3) 一人一人のニーズに応じた支援の充実

(個別の支援計画及び適切な就学指導)

- 個別の支援計画作成率 100%
- 障害児就学指導審議会 6回開催

(4) 発達障害に関する知識と対応の充実

(コーディネーター等連絡会及び研修会)

- 社会福祉課と連携した研修会の開催(12月)

4 魅力ある教育環境づくり

(1) 教育施設整備計画に基づく安心して学べる学習環境整備の推進

(小学校就学環境整備事業) (中学校就学環境整備事業)

- 就学援助費の支給
 - 小学校(合計) 19,896,993円
 - 中学校(合計) 18,100,280円

(2) 児童生徒一人一人に対応できるICT教育環境整備の推進

(小学校情報教育推進事業) (中学校情報教育推進事業)

- MIYAGI Style Ver.3までの機器整備完了:GIGAスクール構想による。
(タブレットPCを児童生徒一人1台配置するとともに、高速大容量ネットワーク環境を構築し、個別最適化された学習者主体の学習環境を整備)
- 中学校普通教室にプロジェクターを設置するとともに、黒板を映写兼用黒板に更新。小中学校普通教室に遮光カーテン設置。

(3) 外国語指導助手(ALT)活用の充実をはじめとする英語教育環境整備の推進

(外国語指導助手招致事業)

- 外国語指導助手(ALT) 5名配置
- 英語教育推進委員会 中止 ※新型コロナウイルス感染防止対策のため

(4) 小・中学校指導助手、特別支援指導助手及び特別支援教育支援員配置の推進

(小学校支援事業) (中学校支援事業)

- 小中学校指導助手6名 特別支援指導助手12名 特別支援教育支援員13名を配置

(5) 教員が子どもと向き合う時間の確保（働き方改革）

- 在校時間調査
- ハイシーズンとオフシーズンを意識したメリハリのある部活動
- 学校事務共同実施の効率化

(6) 教育相談体制の充実（不登校やいじめ、その他の課題、災害時及びその後の社会環境変化に対する心のケアの充実）

（小学校支援事業）（中学校支援事業）

- スクールカウンセラー（全小中学校へ配置）
- スクールソーシャルワーカーを拠点校の岩中へ配置
- 翌年度就学児童を対象とした就学相談会の実施（8月）

(7) 学習支援ボランティアの活用と協働教育の推進

（宮城教育大学・仙台大学・東北福祉大学等との連携及び地域連携推進事業）

- 岩沼学び塾（新型コロナウイルス感染防止対策のため大学生への依頼中止）
- 中学校総合体育大会における支援

(8) 家庭・地域社会に開かれた信頼される学校づくりの推進

（学校評議員及び地域連携推進事業）

- 学校評議員 32名委嘱
- ふれあいパトロール隊員 82名登録

（姉妹都市高知県南国市訪問団との交流事業：南国市から岩沼市へ訪問）

中止 ※新型コロナウイルス感染防止対策のため

（姉妹都市高知県南国市教育委員会の事業視察：岩沼市から南国市へ訪問）

中止 ※新型コロナウイルス感染防止対策のため

- 南国市立十市小学校と玉浦小学校による、オンライン防災学習交流会の実施

（11月）

(9) 不登校児童生徒に対する支援体制の充実（保護者と共に不登校児童生徒の学校復帰を目指すとともに社会的自立を支援）

（子どもの心のケアハウス運営事業）（児童生徒学校適応指導教室（けやき教室）事業）

- いわぬま子どもの心のケアハウス「あいるーむ」の設置
通所支援、学校訪問支援、教育相談の実施
- 岩沼西中学校学び支援教室「ほっとルーム」の設置
別室登校生徒に対して専任教員を配置
- 仙南けやき教室（白石市）への通所委託

「たくましさやさしさを培う学校づくりの推進」に関する事業の点検・評価

児童生徒一人ひとりに対応できる ICT 教育環境整備（小・中学校情報教育推進事業）について、国の GIGA スクール構想に基づき、令和 2 年度において児童生徒及び教員一人 1 台のタブレット端末配備を完了した。これに伴い授業におけるタブレット端末の日常的な活用を図るため、岩沼市「まなび i スクール構想」の下、i-Teacher 研修会（チームいわすた研修会）を実施し教職員のスキルアップに努めた。

総合的な学習の時間・特色ある学校づくり推進事業では、防災や福祉、農業等に関する講師を招いて学習することで、活動内容の充実につながった。特に玉浦小学校が尾花沢市と防災学習交流を実施し、新たな防災教育の連携を図ることができた。

児童生徒の心のケアについても継続・充実に努めた。スクールカウンセラーの全校配置、スクールソーシャルワーカーによる家庭に対する支援に加え、いわぬま子どもの心のケアハウス「あいる一む」における支援や岩沼西中学校に新たに学び支援教室「ほっとルーム」を設置することで、多様な児童生徒の心のケアや自立支援に取り組んでいる。福祉部門との連携も行い、多角的な事業展開により、児童生徒、保護者の心の安定に寄与している。いじめ防止対策の推進については、オンラインで「教育・いじめ防止子どもフォーラム」を開催し、各校の特色ある教育活動を共有するとともに、「いじめは絶対に許さない」風土づくりを推進していくことを市内全校で確認することができた。

さらに岩沼学び塾、指導助手及び特別支援教育支援員の配置による個に応じたきめ細やかな学習指導や支援体制の充実を図るとともに、校内研究充実支援事業での、教育指導専門監による教職員の授業力向上支援が児童生徒の基礎学力の定着と学力向上につながっている。事業全般にわたり、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、内容の見直しや延期・中止などに見舞われたが、感染予防や実施方法を工夫することで、子供たちの学びを止めることなく、学校教育の充実を図るよう事業を実施した。このことにより学校づくりに関する取組は、着実に成果を上げており、事業は概ね順調であると判断した。

学びと潤いにみちた地域社会の実現

1 社会教育推進体制の整備

(生涯学習推進事業)

- 社会教育委員会議の開催 2回開催(6月・1月)
- 生涯学習振興事業助成金の交付 3団体、18個人 793,000円

2 学習機会の充実

(生涯学習推進事業)(放課後子ども教室推進事業)

- ジュニア・リーダー初級研修会の開催 12名参加
- ジュニア・リーダー体験会の開催(子ども合宿代替事業) 7名参加
- コラボスクール(里山体験学習)の開催 5回開催
- 電子顕微鏡体験教室の開催 3日間実施64名参加
- ふるさとの味、はらこ飯を味わおう!の開催(西小6年生)
- 二木の松俳句大会の開催(小学5年生~中学3年生対象) 出展作品数2,023点
- 「スタンウェイに触れてみよう」の開催 1日間実施12組参加

3 家庭教育及び幼児教育支援の充実

(生涯学習推進事業)(放課後子ども教室推進事業)

- 東部のびやか教室の開催 31名参加
- 西部のびやか教室の開催 54名参加
- 南部のびやか教室の開催 27名参加
- 北部のびやか教室の開催 31名参加
- 子育て、親育ち講座 2回開催

4 青少年健全育成活動の推進と社会参加の促進

(青少年室相談事業)(生涯学習推進事業)(成人式開催事業)

- 相談件数 14件
- 街頭巡回指導件数 30件
- 小中高校生への声掛け件数 228件
- 子ども110番の家の設置件数 268カ所
- 少年の主張の開催 8名参加
- 成人式の開催 356名参加
- 青少年健全育成推進団体補助
 - ①岩沼市ジュニア・リーダー協議会 24,000円
 - ②岩沼地区少年補導員協会 36,000円
 - ③健やかな子どもを育てる岩沼市民会議 284,000円
 - ④岩沼市子ども会育成連合会 22,000円
 - ⑤岩沼市父母教師会連合会 50,000円

5 社会教育団体活動の推進と支援

(生涯学習推進事業)

○社会教育団体補助

- | | |
|-------------|-----------|
| ① 婦人団体連絡協議会 | 162,000 円 |
| ② ガールスカウト | 16,000 円 |
| ③ ボーイスカウト | 16,000 円 |

6 社会教育施設の有効活用

○施設利用状況

	開館日数	利用件数	利用者数	1日平均利用者数
市民会館	240	574	25,829	108
中央公民館	288	829	7,319	25
西公民館	288		7,899	27

※新型コロナウイルス感染防止対策により、R3.3.27～R3.5.11、R3.8.27～R3.9.12 を休館

※市民会館空調設備改修工事により、R2.12.1～R3.6.30 を市民会館部分閉鎖

○施設修繕

- | | | |
|-------------|-----|-------------------------|
| ①市民会館・中央公民館 | 修繕費 | 98,178,513 円 (空調設備改修工事) |
| ②西公民館 | 修繕費 | 211,134 円 (R4.3.31 閉館) |
| ③市民図書館 | 修繕費 | 106,480 円 |

7 読書活動の推進

(図書館蔵書整備事業) (図書館運営事業)

○利用登録者数：15,135 人 貸出者数：68,244 人 総貸出数：243,259 冊

○入館者数：86,873 人 蔵書数：215,250 冊

○市民図書館運営協議会 1 回開催

○読み聞かせボランティアステップアップ講座 37 名参加

○初心者向け読み聞かせ研修会 28 名参加

○第10回文化講演会 35 名参加

○文化講演会 34 名参加

○DVD上映会 中止 ※新型コロナウイルス感染防止対策のため

○本のリサイクル市 中止 ※新型コロナウイルス感染防止対策のため

○読み聞かせサークルによるおはなし会 (月1回～2回開催)

「学びと潤いにみちた地域社会の実現」に関する事業の点検・評価

新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が増加と減少を繰り返す状況においても、事業内容の変更や細かな感染防止対策を講じることで、大半の事業を開催することができた。地域の方々にご協力いただき、のびやか教室や里山体験学習がほぼ通常どおり開催できたことは大変良かった。

また、平成 28 年度より「岩沼に愛着を持つ人材育成事業」として実施している「ふるさとの味、はらこ飯を味わおう！」や「二木の松俳句大会」においても参加者に興味深く取り組んでいただくとともに、地域の方との協働による学習機会の充実を図ることができた。

さらに、青少年健全育成として、子ども会育成事業への支援をはじめ、関係団体への補助金交付を行うことで、地域コミュニティの振興に努めた。

市民の学習環境の整備、学習機会の充実に関する取組は、一定の成果をあげており、事業は概ね順調と判断した。

かおり高い芸術文化の醸成

1 芸術文化活動の推進

(芸術文化振興事業) (生涯学習市民活動支援事業) (中央公民館学級・講座運営事業)
(中央公民館玉浦講座) (西公民館学級・講座運営事業) (部活動支援事業)

(1) 芸術文化鑑賞機会の充実

○文化事業協会の主催事業の開催 9事業12公演 入場者数延べ2,337人

(2) 参加し、創造する地域文化活動の充実

○第32回市民文化芸術祭の開催 223人(団体22、個人4)の参加
2日間で1,101人の来場者

○第41回いわぬま市民交流フェスティバルの開催 中止
※新型コロナウイルス感染防止対策のため

○中央公民館学級・講座の開催 9教室257人の参加

○中央公民館玉浦講座の開催 5教室152人の参加

○西公民館学級・講座の開催 7教室150人の参加

○中央公民館社会教育団体登録数 56団体

○旧勤労青少年ホーム社会教育団体登録数 15団体

○西公民館社会教育団体登録数 60団体

○玉浦コミュニティセンター地域活動団体登録数 72団体

(3) 部活動支援事業の充実

○文化部活動支援：9種類の楽器の演奏指導(クラリネット、トランペット、
サクソ、フルート、ホルン、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、
パーカッション)

年間11回開催(7回中止 ※新型コロナウイルス感染防止対策のため)

2 文化財の保護と活用の推進

(市史編纂事業) (文化財保護事業) (文化財発掘調査事業)

(1) 文化財の保護思想の普及と保護体制の整備

○文化財保護委員会 2回開催

○ふるさと展示室において文化財企画展の開催(第33回~第35回)

○出前授業 6回開催

○文化財めぐり 中止 ※新型コロナウイルス感染防止対策のため

(2) 岩沼市史の計画的な刊行及び文化財や歴史資料の調査と保存・活用

○岩沼市史3巻 通史編Ⅲ 近代・現代の発刊準備

○岩沼市史11巻 特別編Ⅲ 震災の発刊準備

(3) 民俗芸能の保護・育成

○指定文化財等補助 ①竹駒奴 30,000円

②早股熊野神楽 30,000円

(4) 開発等に伴う埋蔵文化財発掘調査の推進

○開発計画と埋蔵文化財の関わりについての協議書の提出件数 22件

(5) 原遺跡発掘調査の推進

○原遺跡第6次発掘調査

「かおり高い芸術文化の醸成」に関する事業の点検・評価

公民館においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じて各種教室・講座を開催することができた。また、多様な社会教育団体に活動の場を提供するとともに、補助金交付等、生涯学習活動を積極的に推進した。

市民会館においても、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じて各種イベントをほぼ予定どおり開催することができた。コロナ禍のイベント開催については、今後も感染状況を考慮して、適切な感染防止対策に務める必要がある。

部活動支援事業では、昨年度に引き続き吹奏楽部員の支援を行った。新型コロナウイルス感染症の影響で活動に制限はあるが、継続した支援を行っていききたい。

文化財保護・活用については、岩沼市史の最終巻となる3巻、11巻の編集に取り組むとともに、文化財の発掘調査を行った。特に原遺跡第6次調査においては新たに知見を得た。

市民の多様な文化・芸術活動への支援、及び市が残すべき文化や歴史に関する取組は、一定の成果をあげており、事業は概ね順調と判断した。

感動と活力あふれるスポーツの振興

1 スポーツ振興の充実

(スポーツ団体育成事業) (保健体育一般管理)

- 学校開放登録団体 ・登録団体数 58 団体
- 夢あこがれ事業：ベガルタ仙台サッカー観戦
(令和3年11月20日開催 ユアテックスタジアム仙台)
・市内小中学生、教員、教育委員会職員 56 名参加
- ソニー仙台FC (日本サッカーリーグ) のリーグ公式戦開催
(令和3年9月12日開催 岩沼市陸上競技場)
・市民を無料で招待する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため無観客試合となった。
- ウォーキング・ジョギングイベント (令和3年12月4日開催)
・いわぬまエアポートマラソンの代替イベントとして開催
・市民 128 名参加

2 スポーツ団体活動の支援

(スポーツ団体育成事業) (スポーツ顕彰・助成事業)

- スポーツ団体補助 ①岩沼市体育協会 770,000 円
②岩沼市スポーツ少年団本部 154,000 円
- 国体出場者報償 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため大会が中止
- 全国障害者スポーツ大会出場者報償 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため大会が中止
- スポーツ振興事業補助 1 団体、16 個人 410,000 円

3 部活動支援事業の充実

(保健体育一般管理)

- 運動部活動支援：拠点型9種目 (バドミントン・陸上競技・卓球・ソフトテニス、バスケットボール、野球、バレーボール・サッカー・体力向上トレーニング)
前期 (4月～9月) 81回、後期 (10月～3月) 56回
- 運動部活動支援：派遣型4校5種目 岩中：バドミントン・卓球、西中：バドミントン・剣道、北中：バレーボール、剣道、玉中：バドミントン、野球
前期 (4月～9月) 101回、後期 (10月～3月) 81回

4 スポーツ施設の整備と活用の推進

(スポーツ施設管理事業) (保健体育一般管理)

- 岩沼市総合体育館ボイラー修繕 (令和3年9月完成)
- 岩沼市総合体育館外ベンチ修繕 (令和4年3月完成)
- 岩沼市総合体育館水道非接触化 (令和4年3月完成)
- 岩沼市陸上競技場水道非接触化 (令和4年3月完成)
- 岩沼市総合体育館会議室床修繕 (令和4年3月完成)
- 岩沼市総合体育館会議室前床修繕 (令和4年3月完成)
- 朝日山公園テニスコートフェンス修繕 (令和4年3月完成)

○市長杯総合スポーツ大会の開催

○第30回いわぬまエアポートマラソンの開催 中止 ※新型コロナウイルス感染
拡大防止のため

○主な施設の利用人数の推移

	総合体育館	陸上競技場	多目的グラウンド
R元年度	91,604	26,261	13,688
R2年度	51,093	22,377	12,346
R3年度	19,860	27,651	12,578

※新型コロナウイルス感染防止対策により、R2年2月29日～R2年5月17日、R3年
3月27日～R3年5月11日、R3年8月27日～9月12日を全施設閉鎖

※R3年2月13日に発生した福島県沖地震の影響により、地震発生以降、総合体育館
のメインアリーナ及びサブアリーナを閉鎖

5 市内開催の全国的、全県的大会の支援

(保健体育一般管理)

○第33回全国高校生銃剣道大会（令和3年7月17日開催 岩沼中学校）

・職員が大会役員として参加し、大会運営の支援を行う。

○令和3年度宮城県駅伝競走大会

（令和3年10月17日開催 海浜緑地公園北部ブロック周辺コース）

・職員が大会役員として参加し、大会運営の支援を行う。

・補助金の交付（岩沼市スポーツ・文化振興事業補助金 300,000円）

「感動と活力あふれるスポーツの振興」に関する事業の点検・評価

令和3年2月に発生した福島県沖地震により総合体育館が大きな被害を受け、災害復旧工
事が必要となったが、関係課と連携して計画的に業務を進めることができた。また、総合体
育館のボイラー設備修繕や朝日山公園テニスコート及び市民テニスコートのフェンス部分
修繕等、市民が安全に体育施設を利用できるように修繕業務を行うことができた。

第33回全国高校生銃剣道大会や令和3年度宮城県高等学校駅伝競走大会の開催に当
たっては、関係各所と連携して計画的に大会運営の支援を行うことができた。

指定管理者制度を活用した市内9つの体育施設の管理運営について、指定管理者による施
設整備や市民に対するサービス向上が適切に行われており効果は大きいといえる。また、業
務委託をしている部活動支援事業においても、総合体育館が地震により使用できない中で工
夫を凝らして指導者を各校へ派遣する等、継続的な活動を行うことができた。

今後も指定管理者と連携して市内体育施設の管理・運営に努めていきたい。

IV 学識経験者の意見

鈴木 啓二郎 氏（元公立中学校長）

岩沼市教育委員会が令和3年度に実施した主な事務事業の執行状況の「点検・評価報告書」（令和3年度実績）について所見を述べる。

1. たくましさとやさしさを培う学校づくりの推進について

市内4小学校4中学校の特色ある学校づくりと児童生徒の学力向上・個に応じたきめ細やかな指導の充実のために、コロナ禍の様々な制約の中であって、様々な工夫を重ねながらの事業推進に心からの敬意を表します。

授業におけるタブレット端末の日常的な活用を図るための i-Teacher 研修会や ICT 研修会の実施、中学校普通教室にプロジェクター設置・映写兼用黒板更新など、ICT 教育環境が充実してきている。校内研究や教職員研修の充実が図られており、指導助手・支援員等の配置による個に応じたきめ細かな指導も充実している。

児童生徒の心のケアについて、スクールカウンセラーの全校配置・スクールソーシャルワーカーの拠点校配置、いわぬま心のケアハウス「あいるーむ」に加えて、岩沼西中に学び支援教室「ほっとルーム」を設置するなど、全小中学校の児童生徒、保護者の心の安定に大きく寄与している。「教育・いじめ防止フォーラム」は、市内全校あげてのいじめ撲滅への決意表明と市内各校の特色ある教育活動の推進と共有化に有効であり、「いじめは絶対許さない」という風土作りに欠かせない活動である。

2. 学びと潤いにみちた地域社会の実現について

のびやか教室や里山体験学習、はらこ飯体験学習、二木の松俳句大会などは、児童生徒にとって岩沼に愛着と誇りを持つことのできる原体験となっており、地域の先達と学校との協働による活動として定着してきている素晴らしい活動である。図書館での読書活動推進、街頭巡回指導や成人式の開催等の青少年健全育成活動や、社会教育施設と市民の学習環境・学習機会の整備充実を図る取り組みは順調に進められている。

3. かおり高い芸術文化の醸成について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じながら、市民の文化・芸術活動への旺盛なニーズを受け止め、各種教室・講座の開催、各施設の機能を活用した生涯学習活動の推進が行われた。コロナ禍における各種イベントの開催については、今後も感染状況を考慮しつつ、適切な感染防止対策に努めながらの実施をお願いしたい。岩沼市史3巻・11巻の編集、原遺跡第6次調査で新たな知見を得るなど、大きな成果を出している。中学校文化部活動支援としての楽器演奏指導は、今後さらに継続充実をお願いしたい。

4. 感動と活力あふれるスポーツの振興について

総合体育館等の各種修繕復旧工事が計画的に遂行でき、市民が安全に体育施設を利用できるようになった。中学校における部活動支援事業、特に運動部活動支援として、総合体育館が地震により使用できない中で工夫を凝らして指導者を各学校へ派遣するなど、継続的に実施できたのは素晴らしい。運動部活動支援の一層の支援充実を図っていただきたい。指定管理制度を活用した市内体育施設の市民に対するサービスが充実してきており、管理運営の更なる充実をお願いしたい。

椎名 勝彦 氏（元公立中学校長）

岩沼市教育委員会が令和3年度に実施した主な事務事業の執行状況についての点検・評価結果について、所見を述べる。

1. たくましさとやさしさを培う学校づくりの推進について

特色ある学校づくりのために、各校のニーズに応じた様々な講師の派遣・予算の確保等、充実した支援を行っていることは素晴らしい。特に、教育指導専門監の派遣と ICT 等教育機器の研修会の回数を大幅に増やしたことは、教員の資質向上に大いに役立つものと考ええる。新型コロナウイルス感染防止のため、各種研修会等の中止や減もあったが、劇団四季の映像配信やいじめ防止対策会議の書面開催等、工夫をしながら事業を推進されたことに今年度も敬意を表したい。

視聴覚室等の特別教室ではなく、普通教室にプロジェクターと映写兼用黒板を設置したことも大いに評価できる。今後の日常的な授業展開が楽しみである。

心のケアハウス「あいるーむ」における支援は、少人数による活動等を通して、コミュニケーション力の育成や自分の良さの再発見ができ、自立につながるものと思う。今年度も公立高に進学した生徒、自校に復帰できた子どもがいたようで嬉しいことである。岩沼西中学校の「ほっとルーム」の新設とその成果は、他校にも活用できるものか検証が必要と考える。

「教育・いじめ防止子どもフォーラム」のオンラインでの開催は、多くの児童生徒への「いじめは許さない」という意識づけに大変有効である。

2. 学びと潤いにみちた地域社会の実現について

コロナ禍の中でも、感染防止に苦慮しながら大半の事業を開催できたことは、大変喜ばしい。今後も、心豊かな指導者確保のために、地域への働きかけと連携に努めてほしい。少年の主張が復活したことも良かった。

コンサートを開くピアニストの9割が使用しているという最高級グランドピアノ「スタンウェイ」に触れる機会を設定したことは、参加者への大きな意欲付けになったと思われる。岩沼から著名なピアニストが誕生することも期待できる面白い試みである。

児童生徒が安心して登下校できるための頼り所である「子ども110番の家」が毎年増加している。教育委員会の地域への働きかけに感謝したい。

玉浦に続く「岩沼西コミュニティセンター」の竣工、市民会館・中央公民館の空調設備等の改修工事が完了したことも良かった。今後の事業展開と多様な学習成果が楽しみである。社会教育施設の利用状況が掲載されたことも良かった。

3. かおり高い芸術文化の醸成について

文化事業の増加、市民文化芸術祭の復活等、コロナ前の状況に戻りつつあることは評価に値する。関係団体の努力と創意工夫に敬意を表したい。

旧勤労者青少年ホームが解体された。登録団体の活動場所が確保できるのか心配である。

岩沼市史の編集が最終巻まで漕ぎ着けたことは素晴らしい。岩沼市の文化と歴史を保存するために努力されてきた執筆者と関係者には頭が下がる思いである。

原遺跡に関しては、調査結果の速報企画展が図書館2階で継続的に開催されており、市民への啓蒙と郷土愛の育成に効果的であると思われる。

4. 感動と活力あふれるスポーツの振興について

指定管理者と連携して、良好に運営・修繕等を行っていることは大変好ましい。非接触型の水道が整備されたことは、時宜を得た事業だった。他の施設にも波及していただきたい。ハード面の充実と並行して、利用者の声も反映した管理運営に今後も尽力してほしい。

58もの団体に体育館を開放していることが分かり、改めて学校の必要性和大切さが分かった。対応に当たられている各校の教頭先生に感謝したい。

部活動支援事業については、総合体育館が使用できない状況に甘んじることなく、派遣種目を増やし、支援の充実に努めた。生徒のやる気と技術の向上が大いに期待される。生涯スポーツの推進のために、さらなる指導者の確保・充実をお願いしたい。

岩沼市教育委員会点検・評価報告書（令和3年度実績）

令和4年8月発行

発行：岩沼市教育委員会

編集：岩沼市教育委員会 教育総務課

〒989-2480 岩沼市桜一丁目6番20号

電話 0223-23-0719 FAX 0223-24-0897

メール kyouiku-soumu@city.iwanuma.miyagi.jp